

## ～私のこと～

## 浮ヶ谷順子



東京に生まれる。

14歳より吉田雅夫教授のもとでフルートを学び始め東京芸大にて吉田雅夫氏、川崎優氏に師事。

1978年渡独。カラヤン財団奨学生としてベルリンフィルオーケストラアカデミーで首席フルート奏者アンドレアスはブラウ氏に師事。

ソロの音楽会ははじめ室内楽、ベルリンフィル定期演奏会にも第二フルート奏者として3年間に渡り数多く出演し、故ヘルベルトフォンカラヤン指揮のザルツブルク音楽祭にも参加し研鑽を積む。

平成天皇皇后両陛下、そして皇太子殿下（現、令和天皇陛下）ベルリン訪問の際にはドイツ政府の依頼でベルリンフィルメンバー、ベルリン放送響（現、ドイチェシムフォニーオーケストラ）のメンバーの伴奏でフルート協奏曲を御前演奏した。

その後、ソリストとしての道を選び、ポメラニアンフィル、ピドゴシュチ室内管弦楽団、ライブツィヒカンマーゾリステン、東京フィルハーモニー、名古屋フィルハーモニー、ブランデンブルク国立管弦楽団フランクフルト等、多くのオーケストラとソリストとして共演。ヨーロッパと日本を中心に活動している。

2007年、ドイツ大手のCD会社ベラムジカと契約、ブランデンブルク国立管弦楽団フランクフルト（浮ヶ谷孝夫指揮）とモーツァルトフルート協奏曲のCDをリリースし、2009年下半年ヨーロッパの放送局から、全てのモーツァルトの中で一番多く放送されたCDに選ばれた。☑その他にもJ.S. バッハソナタ集、フランク プロコフィエフなどのソナタ集、フルート小品集、イタリアのフルート協奏曲集、フルート名曲集を録音。数多くの音楽専門誌にて絶賛されている。

ドイツ国内始めヨーロッパ各地、日本では東京文化会館（2014年2017年2018年、労音主催）のリサイタルを行い、出身地の川口、新座市、柴又帝釈天等でも行なっている。

また、2010年より豊橋オーケストラキャンプに参加。多くの室内楽コンサートにも出演。

近々では、2022年8月には地元ノイルツピン市で行なわれたオープンエアーのコンサートにブランデンブルク国立管弦楽団のソリストとして共演している。